

# 平成 31 年度 全国学力・学習状況調査(港南台第一中学校の結果)

平成 31 年 4 月 18 日に 3 年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査結果の概要をお知らせいたします。

## <<教科に関する調査結果>>

### ◎調査結果からみる本校の特徴

- ・国語と数学においては、全国と比較してポイントが高い状況ではあるが、大きな差は見られません。
- ・英語において、「聞くこと、読むこと、書くこと」(+6)・「話すこと」(+1.2) のどちらも全国と比較してポイントが高い状況です。

### 平均正答率 (%)

	国語	数学	英語「聞くこと、読むこと、書くこと」	英語「話すこと」
本校	73	60	62	32
全国との比較	+0.2	+0.2	+6	+1.2
神奈川県	73	59	59	
全国	72.8	59.8	56	30.8

※ 文部科学省の公表と同様に、都道府県・政令指定都市、本校の平均正答率は整数値で表しています。

また、全国の平均正答率については、文部科学省の許可のもと整数値に直して表しています。

### ◎調査結果に特徴のある設問

全国の平均正答率との差が 5 ポイント以上あった主な問題は、次の通りです。

- ・国語の「話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する」問題が 5.5 ポイント高い。
  - ・国語の「話の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する」問題が 7.6 ポイント高い。
  - ・数学の「数の集合と四則計算の可能性について理解している」問題が 5.7 ポイント低い。
  - ・数学の「簡単な連立二元一次方程式を解くことができる」問題が 5.7 ポイント高い。
  - ・数学の「資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる」問題が 7.6 ポイント低い
  - ・数学の「資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」問題が 10.4 ポイント低い。
  - ・数学の「図書だよりの下書きに書かれているわかったことの根拠となる値として適切なものを選ぶ」問題が 6.0 ポイント高い。
  - ・英語の「天気予報を聞いて、ピクニックに行くのに最も適する曜日を選択する」問題が 7.9 ポイント高い。
- ・英語の「来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く」問題が 8.1 ポイント高い。また、全国の正答率は 7.6%と低い。
- ・英語の「発表活動のためにまとめられた 100 円ショップについて文章を読んで、話の流れを示すスライドとして最も適切なものを選択する」問題が 13.8 ポイント高い。

◎全国の調査結果との比較

生活習慣・学習習慣に関する調査結果において、全国と比較して特徴的なものを示すと次のとおりです。

(1) 家で自分で計画を立てて勉強していますか。

「当てはまる」に回答した生徒は3ポイント多いが、「どちらかといえば当てはまる」に回答した生徒は4ポイント低い

	当てはまる	どちらかといえば、 当てはまる	どちらかといえば、 当てはまらない	当てはまらない
本 校	<b>18</b>	<b>32</b>	<b>36</b>	<b>12</b>
神奈川県	15	30	37	14
全 国	15	36	37	12

(2) 将来の夢や目標を持っていますか・・・肯定的に回答した生徒が11ポイント低い

	当てはまる	どちらかといえば、 当てはまる	どちらかといえば、 当てはまらない	当てはまらない
本 校	<b>34</b>	<b>26</b>	<b>21</b>	<b>18</b>
神奈川県	43	25	17	12
全 国	45	26	17	10

(3) 朝食を毎日食べていますか 肯定的に回答した生徒が4ポイント低い

	当てはまる	どちらかといえば、 当てはまる	どちらかといえば、 当てはまらない	当てはまらない
本 校	<b>81</b>	<b>8</b>	<b>7</b>	<b>3</b>
神奈川県	79	12	6	3
全 国	82	11	5	2

(4) 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

2時間以上勉強をしている生徒が20ポイント高い

	3時間以上	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	30分より少ない	まったくしない
本 校	<b>22</b>	<b>34</b>	<b>22</b>	<b>11</b>	<b>4</b>	<b>6</b>
神奈川県	17	30	27	13	8	6
全 国	10	26	34	17	8	4

＜＜授業改善に向けて＞＞

- ・全教科において基礎的な知識及び技能の習得を図るとともに、引き続き知識及び技能を活用して課題を解決する授業を展開していく。
- ・ある教科等で学んだことを、その教科等の中で生かすだけでなく、他の学習や日常生活に生かしていくために、生徒が実生活や実社会につながる課題を自ら発見し解決できるよう、学習題材や発問を工夫する。
- ・日常生活で学習に取り組んでいる生徒は多いので自己肯定感を持たせる場面を授業内でも設けていきたい。
- ・国語では、グループで合意形成や意見の共有をする活動を通して、話し合う力を高めていく。また、自分の考えを根拠と共に書く機会の充実を図り、書く力の向上を目指す。
- ・数学では、スパイラルを重視した数学的活動をより充実させ、日常生活や社会の事象と関連付けるのと同時に、既習事項を想起させ確実に習得できるように工夫したい。
- ・英語科では理解力の定着を図るとともに主体的に活動できる場面を積極的に取り入れ、多様な形態で表現力の伸長を目指す。